

お買い上げいただきましてありがとうございます。

⚠ 危険 安全のために

⚠ 危険 この表示の注意事項を守らないと極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、異常に温度が上がったら、



すぐにバッテリーをはずし、ソニーの相談窓口にご相談ください。

バッテリーから液が漏れたら、

- すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- 目に入った場合は、こすらずにすぐに水道水など多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療をうけてください。
- 液を口に入れたり、なめた場合、すぐに水道水で口を洗浄し医師に相談してください。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。



下記の注意事項を守らないと**火災・破裂**により**死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

- 火の中に入れてない。ショート(短絡)させたり、分解しない。電子レンジやオープンなどで加熱しない。コインやヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管すると⊕と⊖の端子(図の**A**)に接触し、ショート(短絡)することがあります。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れたバッテリーを充電したり、使用しない。



下記の注意事項を守らないと**火災**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でバッテリーを濡らさない。
- 乳幼児の手の届かない所に置き、口に入れないよう注意する。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

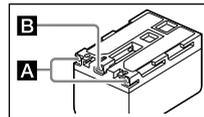


下記の注意事項を守らないと**けが**をすることがあります。

- 機器に取り付けたあと、バッテリー本体を持って機器を持ち運ばない。

使用上のご注意

- 高温になる所に放置しないでください。性能劣化や故障の原因になることがあります。
- 端子部分(図の**A****B**)にゴミや砂などの異物が入らないように注意して使ってください。もし、異物が入ってしまった場合には、先の細いやわらかい棒で完全に取り除き、その後充電器や使用する機器への取り付け、取りはずしを数回繰り返してください。
- お使いになる機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご使用方法

充電について

- ご使用前に必ずソニー製専用充電器、または充電機能がある機器で充電してください。充電中には、「充電確認機能」によってLEDが1つずつ順番に点灯します。
- LEDは実用充電終了(90%以上)まで点灯します。(途中で消灯することはできません。)実用充電終了～満充電ではLEDは点灯しません。満充電は実用充電終了後、約1時間です。
- 充電ランプ付きのビデオカメラに取り付けて充電する場合は、バッテリーのLED消灯(実用充電)から約1時間後に、ビデオカメラの充電ランプが消灯(満充電)します。
* ビデオカメラによっては、実用充電完了時にバッテリーと同時に消灯する機種もあります。詳しくは、お使いのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、満充電まで充電することをおすすめします。この温度以外では、効果的な充電ができないことがあります。



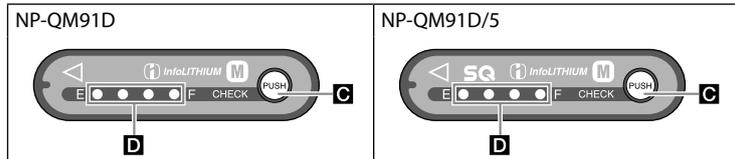
⚠ ご注意

長期間使用していないバッテリーを充電するとき、充電開始直後または、充電中にときどきLEDが点灯しない場合がありますが、故障ではありません。



バッテリー残容量を確認するには

- 4つのLEDにより、バッテリーの中に残っている残容量を表示します。
- 容量確認ボタン(PUSH) **C**を押すと、LED **D**が約3秒間点灯します。



バッテリー残容量表

LED表示 (色はE側がオレンジ、残りは緑) (○：点灯、●：点滅、○：消灯)	残容量
E ● ● ● ● F	75～100%
E ● ● ● ● F	50～75%
E ● ● ● ● F	25～50%
E ● ● ● ● F	25%以下
E ● ● ● ● F	約5～10分以下 * バッテリーの残容量が少なくなりましたので 充電をおすすめします。

■ご注意

- 液晶表示付きのACアダプター/チャージャー(AC-VQ850/SQ950など)で充電中は**C**を押してもLEDは点灯しません。残り時間は、ACアダプター/チャージャーの液晶表示でご確認ください。
- インフォリチウム対応のビデオカメラに取り付けて、使用時(充電時含む)に、**C**を押してもLEDは点灯しません。残り時間は、ビデオカメラの液晶表示でご確認ください。
- ビデオカメラに表示される残容量と、LED表示の残容量は一致しないことがあります。目安としてご使用ください。

残量表示について

- バッテリーチャージャー(BC-VM10など)での充電時は**C**を押すとLEDが点灯します。
- ビデオライト(HVL-20DM、HVL-IRMなど)使用時は、**C**を押すとLEDが点灯します。

バッテリーの上手な使いかた

- 通常のご使用においては、充電の前に電池を使い切る必要はありません。残量があっても充電容量には影響ありません。
- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下します。ポケットなどに入れて暖かくしておき、ご使用の直前にお使いになる機器に取り付けることをおすすめします。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。

バッテリーの保管方法について

- 長期保管の際は1年に1回程度満充電にしてご使用の機器で使い切った後、取りはずして、涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとに異なります。

撮影・記録内容の補償について

万一、バッテリーなどの不具合によって撮影や記録、再生がされなかった場合、撮影・記録内容の補償についてはご容赦ください。

充電できないときは

以下のような場合、一度目の充電ではCHARGEランプが早い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーをバッテリーチャージャーからははずし、再度充電を行ってください。

- 長期間バッテリーを放置した場合
- 長期間バッテリーをカメラ本体に取り付けたま放置した場合
- お買い上げ直後

なお、二度目の充電でも早い点滅*になる場合はバッテリーもしくはバッテリーチャージャーの異常が考えられますので、ご使用なさらずソニーの相談窓口にお問い合わせください。

* 早い点滅：1秒間に3回程度の点滅

お願い **リチウムイオン電池** リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
 を参照してください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
 携帯電話・PHS一部のIP電話…0466-31-2511
 FAX……………0120-333-389

受付時間 月～金：9:00～18:00
 土・日・祝日：9:00～17:00

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「400」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1